















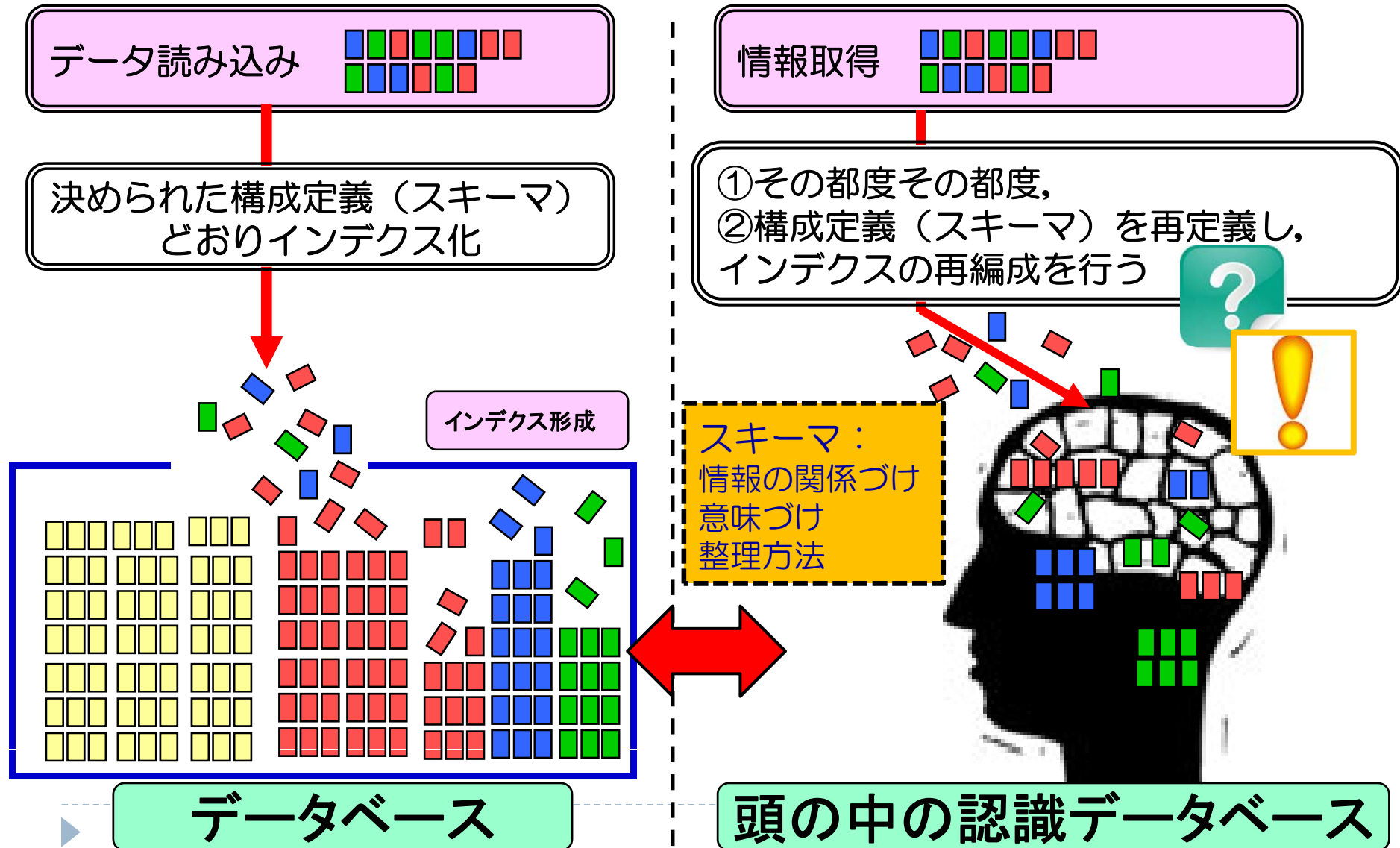






## III.

## 知識を検索する、相互関連性を検索する



## Ⅲ.

## 情報学的なわかり方(長尾真NDL館長)

専門分野の知識はその分野に存在する概念の体系としてとらえることが必要であり、ある用語の意味を理解するには、その概念の内容を知ることだけでは不十分である。ある概念がその専門分野の概念体系の中でどのような位置を占め、他の関連諸概念とどのような関係をもっているかも含めて知ることが理解することである。〔連想と対話が鍵〕

▶ 長尾真. 情報学的なわかり方. 科学. 2007, vol.77, no.1, p.44-45.

## Ⅲ.

## 腑に落ちる(高野明彦)

人間を納得に導くには、一種の『起承転結』が必要です。『結』で納得にできるためには、『起承転』の準備が不可欠。でも今は、いきなり『結』のかけらみたいなものばかり見せられてしまっているんじゃないか。そこに『咀嚼に適した形で情報が提示されることの重要らしさ』を感じます。

高野明彦. 人と「知の公共財」を「連想」で結ぶ. ず・ぼん. 2007, no.13, p.54-69.

## Ⅲ.

## 情報の意味がわかるサービス

---

(エリック・シュミット:元Google CEO)

最終的に目指すのは情報集めの検索ではなく、情報の意味を本当に理解できるようなサービスです。

“グーグルCEO エリック・シュミットさん”  
朝日新聞. 2007.5.5. 朝刊. be週末b1.



### Ⅲ.

## NDLサーチの改善方向(永遠のβ版というが)

例えば、検索表示画面の再整理(何を)  
検索利用者層の意識(誰に)

- ▶ 一般向けの検索インターフェース
- ▶ 図書館職員向け検索インターフェース
- ▶ 国会・立法関係者向け検索インターフェース

多くのデータベースを取り込もうとして、すべての利用者に対応しようとして、検索インターフェースのスキームが曖昧

## Ⅲ.

## 本日のまとめ

---

情報を提供するだけでなく、情報の提供の仕方そのものが、「情報」になる総合・統合目録データベースへの期待

- ＝ 利用者の知識化を促す目録  
《対話、連想》が生じ、《関係性》が分かる目録



# ご静聴ありがとうございました。



同志社国際学院初等部1年生  
が描いたコンセプトマップ

2011.5.25